

可決した意見書

市議会では、市政や市民の皆さんの生活にかかわりの深い事柄について改善等を求めるため、意見書や決議を国等へ提出することができます。

今定例会では、17件の意見書が提出され、うち12件を可決しました。

その件名をご紹介します。

- 「(仮称) 地域安全・安心まちづくり推進法」の早期制定を求める意見書
- 割賦販売法の抜本的改正を求める意見書
- 地方財政の充実・強化のための税財政制度改革などを求める意見書
- 中小企業の事業承継円滑化のための税制改正を求める意見書
- 認可外保育施設への指導監督の強化を求める意見書
- 医師等医療従事者の不足解消の対策を求める意見書

- 身近な地域で安心して出産できる助産所の存続を求める意見書
- 地方議会制度の充実強化を求める意見書
- 福岡県森林環境税による事業に関する意見書
- 北部九州の総合的な空港政策として現福岡空港と北九州空港等との連携案を再検討することを求める意見書
- いじめ・不登校のための対策を求める意見書
- 障害者自立支援法の抜本的な見直しを求める意見書

- 請願「認可外保育施設における安全確保と指導監督の強化について」のうち第4項
- 陳情「八枝小学校区内の学童保育施設の整備について」のうち第2項
- 陳情「乳幼児の通院医療費助成の就学前までの早期拡充及び初診料自己負担額の無料化について」のうち第2項

- 陳情「広徳学童保育クラブの早期移転新設及び保護者負担の軽減について」のうち第1項
- 陳情「障害者自立支援法施行に伴い生じている困難の改善について」のうち第3項
- 陳情「西門司市民センターの建てかえについて」

このほか、請願27件、陳情71件が継続審査になりました。

市議会レポート

認知症の理解を深めました！

北九州市では、およそ5人に1人が65歳以上の高齢者であり、そのうち10人に1人が認知症を発症していると推定されています。このような中、認知症への理解不足や長年の介護は、介護する家族への身体的・精神的負担になっています。

このため、北九州市は、認知症を理解して、認知症の方を地域で温かく見守り、支える「認知症サポーター」を養成するため、市内各地で講座を開いています。

そこで市議会でも、この認知症サポーター養成講座を8月8・9日に受講しました。

今回は、「老いを支える北九州家族の会」代表の高田芳信さんを講師に招き、認知症の予防方法や介護を経験した際の体験談などを聴くことができました。参加した議員からは、「認知症は身近な問題だ」、「認知症の人を地域でサポートすることの重要さが分かった」などの声が聞かれました。



講座受講の様子



講師の高田芳信さん

市議会を傍聴・見学しませんか

先日、市民の方から「市議会の傍聴や見学をしたいが、どうしたらよいか」とのご質問をいただきました。

そこで、市議会の傍聴・見学について、ご紹介したいと思います。あなたも、市議会に足を運んでみませんか。

○傍聴

本会議や常任委員会、特別委員会を傍聴できます。受付は、会議の始まる1時間前から行い、定員は本会議137人、委員会は10～20人です。

なお、車椅子使用の方もそのまま傍聴できるほか、耳の不自由な方には、マイクの音を聞き取りやすくする音声伝達システムを備えています。

* 今定例会の本会議の傍聴者数は、7日間で698人でした。

○議事堂見学

本会議や委員会が開催されていないときに見学ができます。ご希望の日時、人数を予めご連絡ください。

なお、見学時間は午前8時30分から午後5時15分(土・日・祝日を除く)です。

お問い合わせは、市議会事務局総務課(☎582-2621)まで。

お知らせ

- ・市議会では、視覚障害(1級か2級)のある方に、市議会だよりの点字版、または録音テープを無料でお届けしています。ご希望の方は、ご連絡ください。
- ・聴覚に障害のある方が、本会議の傍聴を希望される場合は、要約筆者及び手話通訳者の派遣先を紹介しています。
- ・次の定例会は、12月開催予定です。

請願・陳情の審議結果

- 請願「認可外保育施設における安全確保と指導監督の強化について」のうち第4項
- 陳情「八枝小学校区内の学童保育施設の整備について」のうち第2項
- 陳情「乳幼児の通院医療費助成の就学前までの早期拡充及び初診料自己負担額の無料化について」のうち第2項
- 陳情「西門司市民センターの建てかえについて」

このほか、請願27件、陳情71件が継続審査になりました。